

# 資料 5 抗菌薬適正処方推進事業（仮称）の実施について



地域全体の抗菌薬使用状況（種類・処方量）をデータで可視化・分析し、エビデンスに基づいた適正使用を促進することで、薬剤耐性（AMR）対策を推進します。

## 1. 事業主体・協力体制

- 事業主体：一般社団法人姫路薬剤師会
- 協力：姫路市
- データ処理：株式会社ファルモ

## 2. 事業の概要

- ① **データ送信**：各薬局が個人情報情報をマスクした調剤データをファルモ社へ送信。（ファルモ社のシステムを利用）
- ② **匿名加工**：ファルモ社は、個人情報保護法に準拠した匿名加工処理を実施。
- ③ **分析・提供**：姫路薬剤師会はファルモ社に匿名加工後のデータ分析を委託。ファルモ社は分析レポート（年4回程度）を姫路薬剤師会へ提供。
- ④ **活用・啓発**：姫路薬剤師会および姫路市は、当該分析結果に基づき、地域における抗菌薬の適正使用促進に向けた啓発活動を実施。

## 3. 期間・費用

- 事業期間：令和8年度を初年度として計画。
- 費用：令和8年度はファルモ社が無償でデータ収集・匿名加工や分析を実施

## 4. 期待される効果

- **AMR対策の推進**：地域全体の抗菌薬使用状況の客観的把握と評価を通じ、WHO推奨のAccess抗菌薬使用目標達成に貢献し、感染症治療の質の向上を図ります。

## 5. 今後のスケジュール

- **2月中旬**：一般社団法人姫路薬剤師会へ協力依頼文送付
- **2月～3月**：会員薬局等への本事業参加推奨
- **3月**：姫路市・姫路薬剤師会間の協定締結、各薬局及び姫路薬剤師会とファルモ社間の業務委託契約締結
- **4月**：事業開始（データ収集開始、各薬局における患者への説明・オプトアウト機会の確保）